

みんなの広場

八潮の特産品の小松菜をアピール
八潮市青耕会会長 初山秀行
八潮市青耕会は、昭和42年に市内の農業後継者団体として発足し、今年で41年目を迎えます。現在、会員数は、25人で、その大半が八潮の特産野菜小松菜を栽培しています。



知事の「とことん訪問」で小松菜をアピール

会の活動は、小松菜の栽培方法の研修会、講習会の開催や消費拡大PR、商品開発と、小松菜を中心とした活動を積極的に展開しています。

活動内容を一部紹介しますと、平成16年度から市と協力し、食育の一環として市内全小学校の2、3年生の児童を対象に、小松菜の種をまいたプランターを提供し「八潮の農業」の実践授業として行っています。また、商品開発として小松菜をフリーズドライした粉末を使い、市内洋菓子店と共同で小松菜アイスクリームを商品化し、さらに、市内パン工房との提携により小松菜サブレを試作して、市民まつりで試食販売したところ大好評でした。

栽培を目指し、八潮の特産品としてアピールしていきたい」と知事へ伝えました。

市民ボウリング連盟を設立 八潮市市民ボウリング連盟会長 村松芳之

「市民の心身健全なスポーツボウリングの普及振興を図ること」を目的として、昨年9月、八潮市市民ボウリング連盟を設立いたしました。この連盟には、現在、27団体が加盟しており、企業組合サークル団体など、ボウリングに興味のある団体・個人でしたら、どなたでも加盟できます。

11月11日には、連盟設立記念大会を八潮駅前のレストラン「ザ・サードパーク」にて開催し、参加者78人による会員相互の親睦を図りました。上位入賞者は次のとおりです。優勝 阿部清、2位 小山淳、3位 北村茂(敬称略) また、今年4月から市体育協会への加盟も予定しており、八潮市がボウリング発信地になることにより、国体選手の養成も期待しております。



ボウリング連盟設立記念大会

サンタがいっぱい!ビックリスマス!



12月16日、恒例の「第12回ビックリスマス会」が、やしお生涯学習館で開催されました。会場ではサンタ幼稚園が開園され、来場した約100人の子どもたち全員が、入園試験に合格しました。そして、児童合唱団「ハッピーメロディー」と一緒に楽しいクリスマスソングを歌ったり、市民劇団「アウトハウス」によるたくさんのサンタクロースと一緒に体操をしました。無事、サンタ幼稚園を卒業した子どもたちは、サンタからのクリスマスプレゼントやサンタと一緒に記念撮影をして、一足早いクリスマスを楽しみました。

八潮市発、川の再生が地球環境を救う



12月9日、地域環境セミナー「八潮市発、川の再生が地球環境を救う」が、八潮メセナで開催されました。セミナーでは、主催者の埼玉県環境科学国際センターの須藤総長の基調講演「水環境と地球温暖化をめぐって」を始め、ピオトップ部会を担当した「大曾根の湿地ピオトップを守る会」の小林会長、河川浄化部会を担当した「やしおの川をきれいにする会」の小澤会長などから、それぞれの分科会で水辺の環境改善等について討論した発表があり、約100人の参加者は、これからの八潮の水辺の環境改善についての方向性等を確認しました。

なぜ自治基本条例は必要なのか



12月23日、市民と行政の協働によるまちづくり「なぜ自治基本条例は必要なのか」が八潮メセナで開催され、約100人の参加がありました。この講演会は、「自治体の憲法」とも言われている自治基本条例について、市民の皆さんに理解していただくため、明治大学教授の牛山久仁彦さんに講演していただいたものです。今後、市の自治基本条例の制定に当たっては、市民検討組織や市庁内検討委員会などで様々な検討が進められ、市民の皆さんから意見をいただき、平成21年度の制定を目標に検討していきます。

60歳は人生の再スタート



国で初めての健寿式「やしお健寿のつどい」が、12月2日、八潮駅前の八潮メセナ・アネックスで開催されました。還暦は長寿というより「さあ60歳、人生これから」と再スタートを切る節目として、やしお生涯学習まちづくり財団とNPO法人健寿ネットワークの主催で行われたものです。当日は、健寿式対象者19人(60歳、70歳、80歳の方)を含む約150人が参加し、健康づくり講演会のほか、交流パーティや潮止小学校4年生の児童による「仲よし獅子舞」の披露、ワンポイント・ストレッチなどがあり、和やかな雰囲気の中に閉会となりました。

いきいきやしお写真館



◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いていない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内9カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは2月10日(日)です。